

米民主党、2012年政策綱領を公表（9月4日）

米民主党は9月3日深夜、2012年民主党政策綱領「米国を前進させる（Moving America Forward）」を公表した。同綱領の中で高等教育に関しては、過去4年間と同様、①連邦政府による学資援助と、②米国人の大学学位保有者の割合増加の2点に重点が置かれている。

先日発表された共和党の政策綱領では、学資融資プログラムの変更、4年制大学に代わる高等教育機関への支援拡大、差別是正措置及び米国への合法的滞在資格のない学生への州内出身者向け学費適用の廃止など、多岐にわたり批判的でありながらも具体的な内容が述べられていたが、民主党政策綱領はあまり詳細に触れておらず、オバマ大統領の掲げる「2020年までに大学卒業生数の割合を世界一にする」という目標を繰り返す形となっており、内容的には2012年1月の一般教書演説で指摘されたものと重なる部分も多い。

また、今秋、最高裁で審理される大学入学審査時の差別是正措置の是非に関しても、共和党は反対姿勢を打ち出しているのに対し、民主党の綱領はこの件について全く触れていない。

具体的に民主党が政策綱領内で主張しているのは、コミュニティ・カレッジ及び理数系科目教育の支援と、教員教育プログラムの水準引き上げに対する支援と、基礎研究プログラムに対する助成の倍増、全米人文科学基金（National Endowment for the Humanities）への継続的支援の提唱である。

さらに、移民対策も教育における重要点として上げられているが、米国で学位を取得したより多くの留学生に対して国内での就労許可を与えるなど、共和党の主張と共通した面も少ないながら存在する。

なお、本政策綱領は、9月4日の全国党大会で正式に採択された。

なお、2012年民主党政策綱領は

<<http://www.democrats.org/democratic-national-platform>>からダウンロード可能。

Inside Higher ED, Higher education plays a role in Democratic platform

<http://www.insidehighered.com/news/2012/09/04/higher-education-plays-role-democratic-platform>